

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

岡山県玉野市 玉野市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	ド訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
58,834	10,895	非該当	10 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

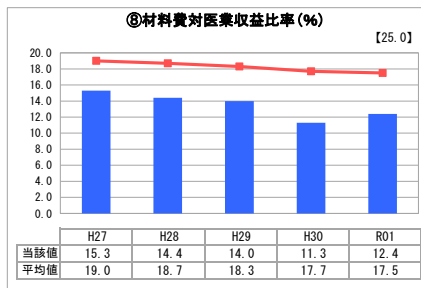
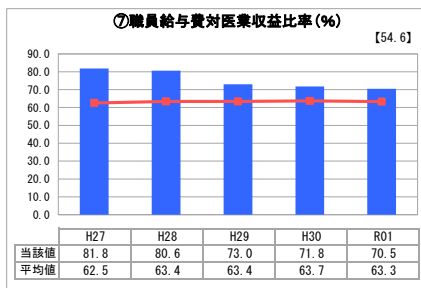
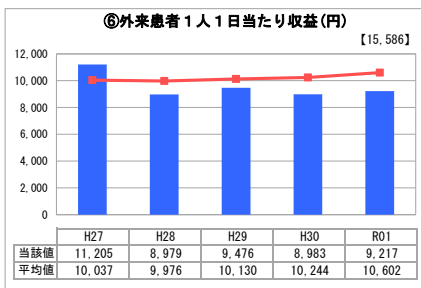
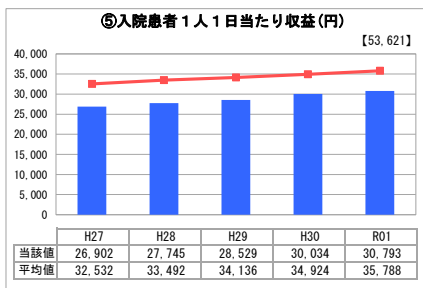
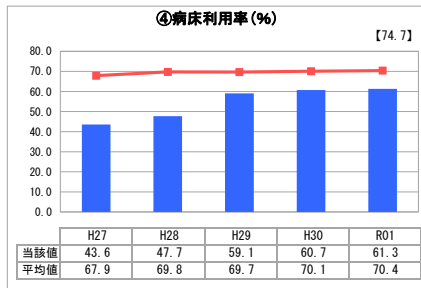
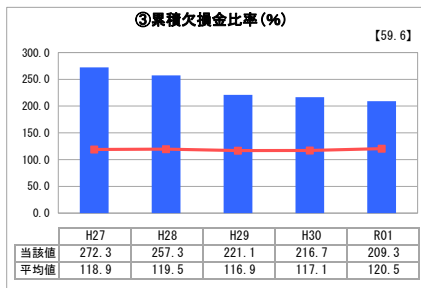
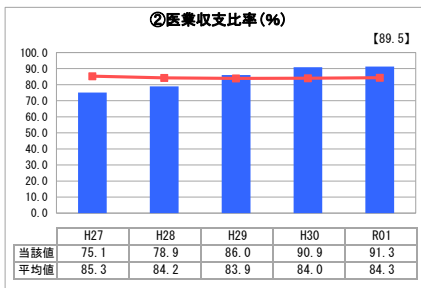
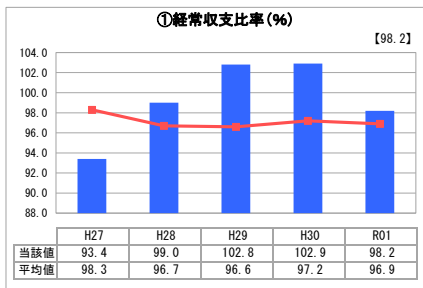
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
159	-	159

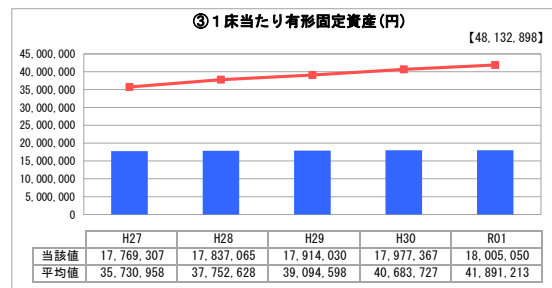
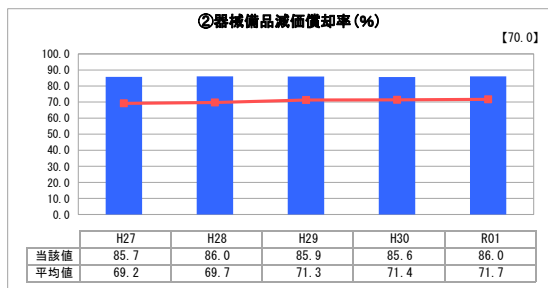
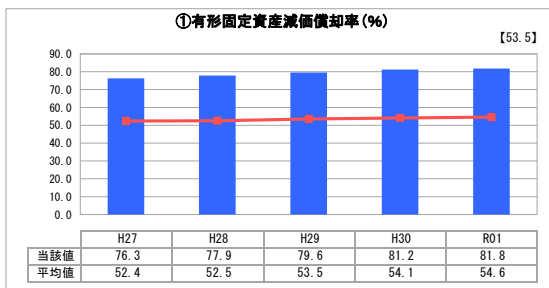
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

市内には当院を含め7つの病院が設置されているが、当院では、公立病院として救急医療、小児医療を始めとする不採算医療を担うとともに、地域急性期、回復期を中心に地域における中核医療機関としての役割も担っているところである。また、同一医療圏内には高度急性期機能を持った多数の病院が設置されており、高度治療を終えた患者が地域に戻って安心して療養できる場所として、バックベッドの役割も担っているところである。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当院の経営状況として、累積欠損金比率が平均値を大きく上回り、多額の累積欠損金を計上するなど健全とは言えない状況ではあるが、医業収支比率において、前年度と比較して改善傾向であり、平成28年度から取り組んでいる病院改革の効果が現れ始めてきたところである。特に収入面においては、病棟再編等に伴って地域に必要とされる機能への転換を図ったことにより、入院1人1日あたりの収益が上昇するなど、収益の増加につながったところである。外来収益について、類似病院と比較し、化学療法件数が少なく、平均を下回っていると考えられるため、地域連携等の集患対策の検討が必要である。

### 2. 老朽化の状況について

築40年以上が経過し、減価償却率において有形固定資産、機械備品いずれも80%を超え、施設の老朽化が進んでいる状況である。反面、1床当たり有形固定資産は平均値を大きく下回り、経営面における負担は軽減されているものの、利用者の安全性や医療の継続性を考慮すれば、施設の更新の必要がある。

## 全体総括

平成28年度からスタートした民間医療法人との業務提携も4年が経過し、経営面における改善傾向が見られるようになってきたところではあるが、現状の決算数値を見れば、依然として厳しい経営状況が続いており、安定的な経営に向けて、さらなる改革への取り組みが求められているところである。

一方で、病院施設の老朽化が進み、大規模更新の時期が迫っている中において、地域医療を将来にわたって存続させていくために、令和3年4月より同市内の企業立病院との経営統合し、地方独立行政法人を設立予定であり、令和6年の新病院開院を目指し取り組んでいる状況である。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。